

令和4年度採用 中学校専門 音楽

志願種別	
受験番号	

- ① 中学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省)について、【11】【12】の問い合わせに答えよ。

【11】 次の文章中の下線部①～⑥のうち、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 第2章 第5節 音楽 第1 目標」の記載内容として誤っているものを一つ選べ。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) ①曲想と音楽の構成や背景などの関わり及び②音楽の多様性について理解するとともに、③創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようとする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、④音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようとする。
- (3) ⑤音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【12】次の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2内容 A 表現」の一部である。文中の A ~ D に当てはまる言葉の組合せとして正しいものを、下記の①~⑤から一つ選べ。

A 表現

- (3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 創作表現に関わる A を得たり生かしたりしながら、B を創意工夫すること。
- イ 次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。
- (ア) C の特徴
- (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
- ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、D に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。

	A	B	C	D
①	技能	まとまりのある 創作表現	音のつながり方	思いや意図
②	知識や技能	まとまりのある 創作表現	音階や言葉などの特徴 及び音のつながり方	課題や条件
③	技能	創作表現	音階や言葉などの特徴 及び音のつながり方	思いや意図
④	知識や技能	まとまりのある 創作表現	音のつながり方	思いや意図
⑤	知識や技能	創作表現	音のつながり方	課題や条件

【2】 次のア～オの楽曲の一部を抜粋した旋律について、【13】【14】の問い合わせに答えよ。

ア

イ

ウ

エ

オ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【13】 ア～オを作曲時期の早いものから順に並べたとき、3番目になる曲を、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① ア
- ② イ
- ③ ウ
- ④ エ
- ⑤ オ

【14】 主題としてアの旋律が最初に現れるときに演奏する楽器の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① チェロ、コントラバス
- ② ヴィオラ、チェロ
- ③ ヴァイオリン、ヴィオラ
- ④ ヴァイオリン、チェロ
- ⑤ ヴァイオリン、コントラバス

- 3 次の楽譜は、共通教材の楽曲の一部である。【15】～【18】の問い合わせに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- 【15】 この楽曲の作詞者と作曲者の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

	作詞者	作曲者
①	土井 晚翠	滝 廉太郎
②	江間 章子	中田 喜直
③	吉丸 一昌	中田 章
④	鳥居 忱	滝 廉太郎
⑤	武島 羽衣	滝 廉太郎

【16】 □～□に入る音楽に関する記号の組合せとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	<i>f</i>	<i>ff</i>	<i>rit.</i>	>	<i>a tempo</i>
②	<i>f</i>	<i>mf</i>	<i>rit.</i>	<i>f</i>	<i>a tempo</i>
③	<i>mf</i>	<i>f</i>	<i>f</i>	<i>rit.</i>	<i>mp</i>
④	<i>f</i>	<i>mf</i>	<i>f</i>	<i>rit.</i>	<i>a tempo</i>
⑤	<i>mf</i>	<i>f</i>	<i>rit.</i>	>	<i>mf</i>

【17】 この楽曲の1番の歌い出しの主旋律として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

①	
②	
③	著作権保護の観点により、掲載いたしません。
④	
⑤	

【18】 この楽曲の2番の歌い出しの歌詞として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 見ずやあけばの露浴びて
- ② 見ずや夕ぐれ手をのべて
- ③ 錦おりなす長堤に
- ④ くるればのぼるおぼろ月
- ⑤ 春のうららの隅田川

- ④ 能「羽衣」について、次の資料を読み、【19】～【21】の問い合わせに答えよ。

資料1

「羽衣」は、シテやワキという演者と、地謡と囃子という演奏者によって上演される。物語は、シテやワキ、地謡が謡う「謡」によって進行する。「地謡」は、通常8人で編成され、シテの心理や情景などを描写した謡を担当する。「囃子」は、Aで編成され、謡の伴奏や舞の音楽を担当する。

資料2 場面の説明

天界のさまざまな舞（東遊）を見せた天人は、三保の松原から富士山へと舞い上がり、霞に紛れて天界へ戻っていく。

資料3

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【19】 能「羽衣」における「囃子」の楽器編成について、Aに当てはまる正しい楽器の組合せを、次の①～⑤から一つ選べ。

- ① 笛（能管）、篠笛、小鼓、おおづづみ 大鼓、たいこ 太鼓
- ② 笛（能管）、篠笛、三味線、小鼓
- ③ 笛（能管）、篠笛、三味線、大鼓、太鼓
- ④ 笛（能管）、小鼓、大鼓、太鼓
- ⑤ 笛（能管）、三味線、小鼓、大鼓

【20】 資料3のア～エは、資料2に示された場面の謡い方の一例を示したものである。謡うときの正しい順番を、次の①～⑤から一つ選べ。

- ① ア→イ→エ→ウ
- ② ア→ウ→イ→エ
- ③ ア→エ→ウ→イ
- ④ ア→イ→ウ→エ
- ⑤ ア→ウ→エ→イ

【21】 能「羽衣」を謡うときに気を付けることについて、正しく述べているものはいくつあるか、次の①～⑤から一つ選べ。

- ・一つ一つの言葉をはっきりと発音して謡う。
- ・言葉のリズムに気を付けて、拍の流れにのって謡う。
- ・節のまとまりの終わりの部分では「節尻」を用いて消えるように伸ばして謡う。
- ・「さんご」「まんがん」「かげ」など、下線の部分は鼻濁音で謡う。
- ・背筋を伸ばし、おなかの底から息を出すような感じで謡う。

- ① すべて正しい
- ② 4つ
- ③ 3つ
- ④ 2つ
- ⑤ 1つ

- 5 次のA～Eの文章は、日本音楽史について述べたものである。【22】～【24】の問い合わせに答えよ。

A 能 樂	能は、音楽、舞踊、演劇などの要素をもった日本の伝統的な歌舞劇です。ア，足利義満の保護のもと観阿弥、世阿弥親子によって基本的な形が整えられました。 カは、能舞台で演じられるセリフ劇です。物語上の有名な人物を主人公にすることが多い能に対して、カでは庶民を主人公にすることが多く、大名などを風刺したり、日常の滑稽な場面を描いたりします。 能とカは、総称して「能楽」と呼ばれます。
B 歌 舞 伎	歌舞伎は、歌（音楽）・舞（舞踊）・伎（演技）の要素を融合した日本の伝統的な演劇です。その起源は、イに京都で出雲のお国が興行した「かぶき踊」だといわれています。それがしだいに劇としての要素を兼ね備えるようになり、それぞれの時代の流行や他の芸能の要素などを巧みに取り入れながら、総合芸術として発展しました。 キは、18世紀初頭に歌舞伎の音楽として生まれました。唄を担当する「唄方」、三味線を担当する「三味線方」、笛や打楽器で構成される「囃子方」によって演奏されます。
C 文 樂	文楽（人形浄瑠璃）は、ウに大坂（現在の大坂）で生まれた、日本の伝統的な人形芝居です。大坂の町人文化を背景にして発展した文楽は、太夫と三味線によって演奏される「ク」に人形遣いがぴたりと呼吸を合わせ、人間の「情」を描いたさまざまな物語を表現します。
D 雅 樂	雅楽は、約1300年の歴史をもつ日本の伝統芸能で、主に宮廷や寺社などの儀式の音楽として伝えられてきました。5～9世紀頃アジア各地から伝えられた音楽や舞を起源とする「舞楽」と「管絃」、日本古来の歌や舞、さらに平安時代に日本でつくられた歌があり、エに現在の形がほぼ完成しました。
E 組 踊	組踊は、せりふ、音楽、舞踊などの要素で構成される歌舞劇です。オに、琉球王府の踊奉行であった玉城朝薰が、清の皇帝からの使者をもてなすために始めたもので、琉球古来の芸能や故事をもとに、能や歌舞伎、中国の演劇にヒントを得てつくりました。

【22】 文中のア～オに当てはまる時期の組合せを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	10世紀頃	1719年	1603年	1400年頃	17世紀末
②	10世紀頃	1603年	1719年	1400年頃	17世紀末
③	1400年頃	17世紀末	1603年	10世紀頃	1719年
④	1400年頃	1603年	1719年	10世紀頃	17世紀末
⑤	1400年頃	1603年	17世紀末	10世紀頃	1719年

【23】 文中のカ～クに当てはまる音楽の組合せを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

	カ	キ	ク
①	田楽	長唄	清元節
②	田楽	音頭	清元節
③	狂言	長唄	義太夫節
④	狂言	音頭	義太夫節
⑤	田楽	長唄	常磐津節

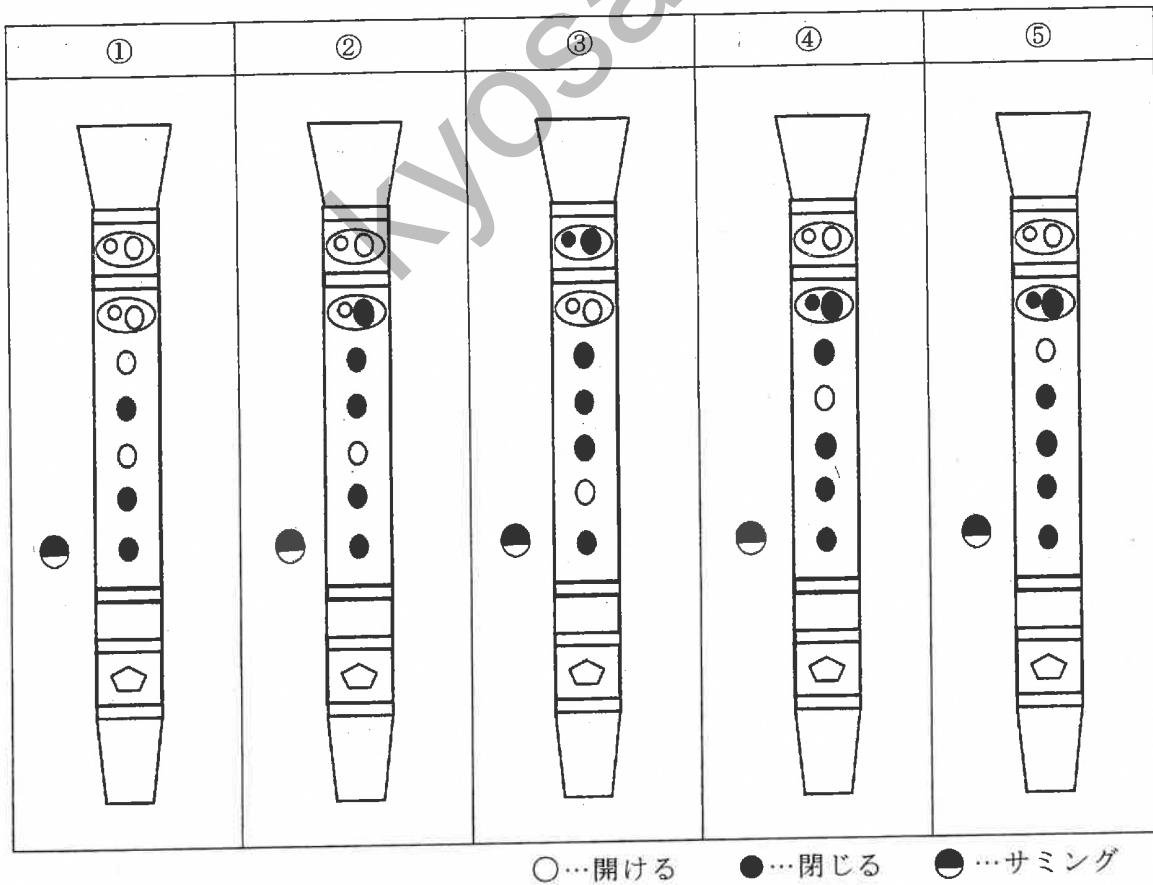
【24】 A～Eについて、代表的な作品の組合せを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

	A能楽	B歌舞伎	C文楽	D雅楽	E組踊
①	敦盛	勧進帳	鳴響安宅新関	平調 越天樂	道成寺
②	安宅	巣鶴鈴慕	鳴響安宅新関	平調 越天樂	道成寺
③	安宅	巣鶴鈴慕	鳴響安宅新関	観音宝号	執心鐘入
④	安宅	勧進帳	新版歌祭文	観音宝号	執心鐘入
⑤	敦盛	勧進帳	新版歌祭文	平調 越天樂	執心鐘入

- ⑥ 次の楽譜について、【25】【26】の問い合わせに答えよ。

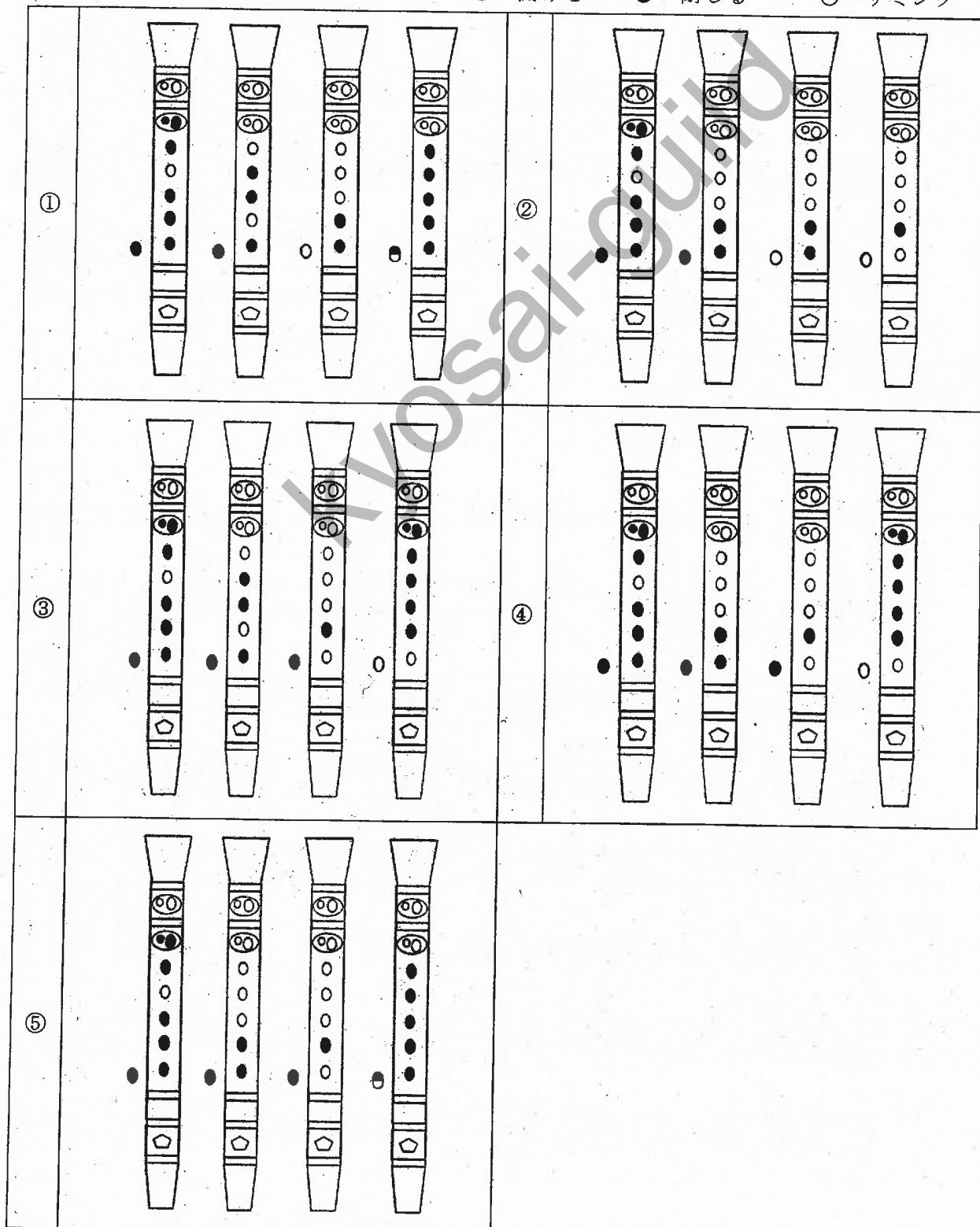
著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【25】 アルトリコーダー（バロック式）で演奏する場合、アの正しい運指を次の①～⑤の中から一つ選べ。なお、楽器の特性によって運指が異なる場合もあるが、ここでは標準的なものを示している。



【26】 イのコードは4つの音から成る和音である。ソプラノリコーダー(バロック式)で、4つの音をそれぞれ演奏するときの運指を、次の①～⑤の中から一つ選べ。なお、楽器の特性によって運指が異なる場合もあるが、ここでは標準的なものを示している。

○…開ける ●…閉じる ◑…サミング



- 7 次の楽譜に示された楽曲について、【27】～【29】の問い合わせに答えよ。

kyosai-guild

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【27】 楽譜のア, イ, ウの和音について、正しく説明している文を、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① アの和音は長三和音、イとウの和音は短三和音である。
- ② アの和音を主和音とするとき、イの和音は属和音である。
- ③ アの和音を主和音とする調と、イの和音を主和音とする調は平行調の関係である。
- ④ イの和音を主和音とする調と、ウの和音を主和音とする調は下属調の関係である。
- ⑤ アの和音を主和音とするとき、イとウの和音は主要三和音である。

【28】 Cl. のエの部分は、Picc., Fl., Ob. とユニゾンで演奏している。A管で演奏する場合、次のどの楽譜が適切か、下記の①～⑤の中から一つ選べ。

①

②

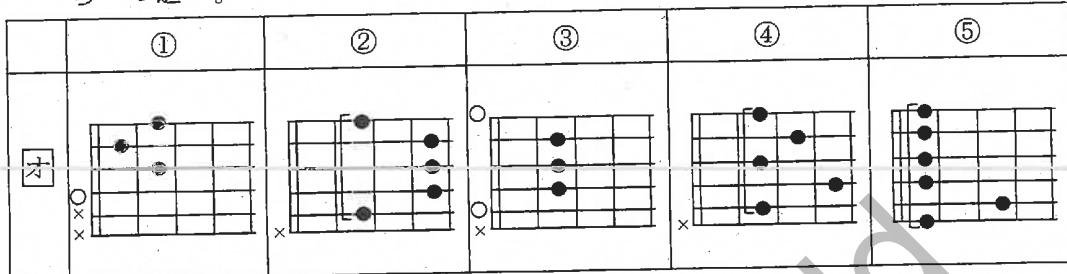
③

④

⑤

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【29】 ギターで演奏するとき、楽譜の□の和音が鳴る押さえ方を、次の①～⑤の中から一つ選べ。



○…開放弦

×…弾かない弦

[…左手の人さし指で2本以上の弦を同時に押さえる]

〔8〕 和音や拍子について、【30】の問い合わせに答えよ。

【30】 和音や拍子について、正しく述べているものはいくつあるか、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- A 全終止には、完全終止と不完全終止がある。不完全終止とは、V度和音からI度和音の連結によって終止するが、V度和音かI度和音のどちらかが転回形である場合をいう。
- B 半終止の一種として、フリギア終止とフォーレ終止がある。フォーレ終止は、IV度上の属7和音（第2転回形）を変化和音として用いる旋法的な終止である。
- C 変格終止（またはプラガル終止）とは、楽節がIV度和音からI度和音に連結し、終止する。楽曲の完全終止のあと、最後に配置されることが多い。IV度和音の代替としてII度和音を用いる場合がある。
- D 自然和音は、自然協和音と自然不協和音に分類され、それ以外のものを人工協和音、人工不協和音と呼ぶ。短三和音は自然不協和音である。
- E 拍子には、単純拍子、複合拍子、混合拍子などがある。単純拍子とは、各拍が2分割される2拍子、3拍子、4拍子のことをいう。複合拍子とは、各拍が3分割される2拍子、3拍子、4拍子のことをいう。混合拍子とは、異なる単純拍子が2つ以上組み合わされた拍子のことをいう。

① すべて正しい

② 4つ

③ 3つ

④ 2つ

⑤ 1つ

kyosai-guild

kyosai-guild

令和4年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 中学校専門 音楽

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	①	②	⑤	②	⑤	④	③	①	④	⑤

問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	②	⑤	③	⑤	⑤	④	③	②	④	②

kyosai-guild